

# 2023 年度 幼児造形事業 成果報告

2024 年 3 月

金城大学短期大学部 森田 ゆかり

2018 年度から始まった幼児造形事業は、6 年目を終えようとしています。

今年度、「かほく市幼児造形事業」は、こども環境学会の「自治体施策奨励賞」を受賞しました。「自治体施策奨励賞」とは、『こども環境に寄与する行政施策であって、近年に完成、完了した施策、若しくは継続中の施策でその成果が認められるもの、又は近年に着手された施策で、顕著な成果が生じ始めると認められるもの』と定義されています。

建築や景観、遊具などの環境ではなく、行政と保育者が一体となり、造形を基幹として実施する事業を通して、常に挑戦的に、こども主体の保育に取り組み、保育全体の改善につながっていることが高く評価されたのだと思います。改めてお祝い申し上げます。また、昨年の『美育文化ポケット 34 号』取材をご縁に、こども環境学会にご推薦くださった榎英子先生にも感謝申し上げます。

## おもな事業内容

実施日時		会場	内容		参加数
6/21	13:15 ~14:45	議会庁舎 第 1 会議室	幼児造形研修会 ①	絵を読む会 (5 歳児)	13
7/5	13:15 ~14:45	宇ノ気生涯学 習センター 音楽室	幼児造形研修会 ②	実技研修 1-1・0,1,2 歳児造形 遊び (教材研究) K クレイ粘土、 スクラッチ	32
7/14	13:15 ~14:45	宇ノ気生涯学 習センター 音楽室	幼児造形研修会 ③	実技研修 2-1・3,4,5 歳児造形 遊び (教材研究) クレヨン	23
7/28	9:30 ~11:00	金津こども園	3 歳児公開保育 (3,4,5 歳児 保育者対象)	「光と影っておもしろい」	11
	13:00 ~14:30	金津こども園 遊戯室	3 歳児公開保育 検討会		21
8/7	13:15 ~14:45	宇ノ気生涯学 習センター 音楽室	幼児造形研修会 ④	実技研修 1-2・0,1,2 歳児造形 遊び (教材研究) K クレイ粘土、 スクラッチ	28
8/18	13:15 ~14:45	市役所 304 会議室	幼児造形研修会 ⑤	絵を読む会 (4 歳児)	17

8/28	13:15 ~14:45	宇ノ気生涯学 習センター 音楽室	幼児造形研修会 ⑥	実技研修 2-2・3,4,5 歳児造形 遊び（教材研究）クレヨン	24
9/13	13:15 ~14:45	議会庁舎 第1会議室	幼児造形研修会 ⑦	絵を読む会（2歳児）	20
10/11	13:15 ~14:45	市役所 302 会議室	幼児造形研修会 ⑧	絵を読む会（3歳児）	14
11/15	9:30 ~11:00	大海こども園 （オンライン）	1歳児公開保育 （0,1,2歳児 保育者対象）	「さわってみよう！きいてみよ う！」	18
	13:15 ~14:45	市役所 302 会議室	幼児造形研修会 ⑨	遊び・表現を読む会（1歳児）	
12/13	13:15 ~14:45	議会庁舎 第1会議室	幼児造形研修会 ⑩	遊び・表現を読む会（0歳児）	14
12/16	9:30 ~11:00	市役所 301, 302 会議室	1歳児公開保育 検討会	11/15「さわってみよう！きい てみよう！」の検討会	33
2/3	14:00 ~16:35	石川県西田幾 多郎記念哲学 館	かほく市こども 園職員会研修会	・講演 山田紀子氏「こどもの 育ちを支えるかかわり」 ・県保育実践研究発表報告 ・研究委員会報告 他	136
通年		公立こども園 全園	展示	玄関付近にアートコーナーを設け、現在進 行形の造形活動およびドキュメンテーシ ョンを随時展示（※）	
		ホームページ	情報発信	幼児造形事業内容について、子どもの姿を 中心に園での取り組みを発信	
		イオンモール かほく	イオンエンパ ワーメントプロジ ェクト（展示）	（※）の展示後、各園月替わりでイオンモ ールかほくに展示（3，4歳児）	

## 2023年度の変更点・新たな取り組み

### 《公開保育》

2020～2022年度の3年間は、コロナ禍のためオンラインで実施したが、今年度は3歳児公開保育を従来の参加型に戻し、当日午後に検討会も実施す

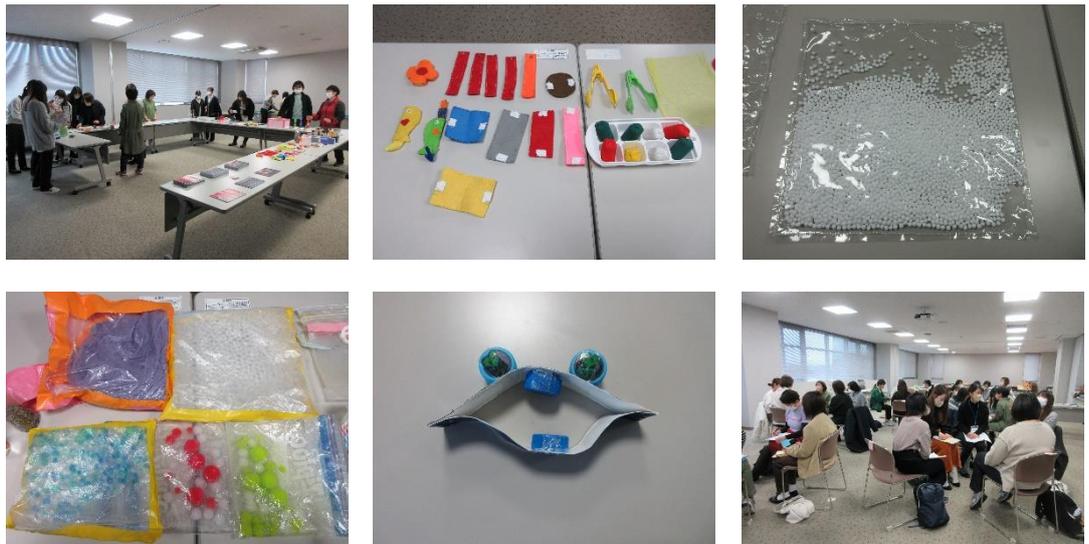


ることができた。

一方で1歳児公開保育は、あえてオンラインの方法をとった。クラス担任以外に保育室に入るのは、指導保育士、森田、撮影者だけである。活動の様子をビデオで撮影し、後日、市立こども園に動画を配信した。この方法は、特に低年齢クラスの場合、いつも通りの自然な子どもの姿を見ることができる「よさ」がある。また、低年齢の子ども動きは予測できないため、動画の方が貴重な場面を記録として残しやすく、後日、子どもの視線やしぐさなどから多くのことを探り共有することができた。



1歳児公開保育の検討会は約1か月後に行ったが、直前に行われた0歳児の「遊び・表現を読む会」の時に保育者の持ち寄った手づくり遊具などがとても興味深かったため、検討会の時に0,1,2歳児保育者各自が手づくり遊具などを持参し、全員で共有する場をもつことになった。とても有意義であった。



#### 《幼児造形研修会》

「絵を読む会」(0,1歳児は「遊び・表現を読む会」)を年齢別に計6回、実技研修を4回、計10回実施することができた。「実技研修」は、3,4,5歳児保育者対象の研修、0,1,2歳児保育者対象の研修の2種類を、同じ内容でそれぞれ2回行った。

2021年度以降、平日の午睡時間に設定し、会計年度任用職員の方々が優先的に参加できるようにしているが、今年度は新たに**私立園の保育者も参加した。**



「絵を読む会」「遊び・表現を読む会」および「実技研修」に関して、今年度は、「かほく市幼児造形事業」、金城大学短期大学部で森田が担当する造形の授業、かほく市の保育者が多数参加（2023度は44名の方が登録）している「石川幼年美術の会・スタッフ研修会」の取り組みが、自然な形でリンクしていき成果をあげた。



例えば、かほく市の保育者と保育を志す学生が共に学び合う機会が3回あり、大いに刺激を受け合った。また、学生、保育者それぞれが教材研究した中から生まれ、「全国幼年美術の会夏季大学」の「実技研修」の題材になった『未満児のスクラッチ』は、全国からの参加者はもちろん委員の間でも大好評であった。スクラッチといえは、「いろいろな色のクレヨンで隙間なくしっかりと塗りつぶし、さらに黒を塗って削る遊び → だから4歳くらいにならないとできない」という思い込みがあったが、小さな年齢の子どもたちは「削る行為」が楽しい、「削ると何かが出てくる」ことが面白い。そのことに気づくと、少



シアタマがかたくなった私たち大人からも、遊びはどんどん生まれた。学生も、保育者の皆さんも、面白がって挑戦して下さったことにより実現した「全国夏季大学」での実技研修であった。金城短大での「世界児童画展」開催期間とスタッフ研修会の日程をうまく合わせ、作品を鑑賞する機会もつくる事ができた。

### 《ちびっこアート展》

2023年度からの新たな取り組み、「イオンエンパワメントプロジェクト」も今後が楽しみである。日頃から取り組んでいる「ドキュメンテーション」を、うまく活用することができた。

### ◆「ドキュメンテーション」とは？



2018.8 （保育室前の廊下）

幼児造形事業が始まった年のドキュメンテーション活用の一例

新聞紙でじっくり遊び

→ ビリビリに破った新聞紙から粘土をつくり

→ その粘土で遊んだ **プロセスを、見える形にしている。**

公立こども園全8園が、同様の取り組みを日常的に続けている。

2019.8 「泥んこ にゆるにゆる」(2歳児保育室前)



保育者のどのような言葉が添えてあるかというところ…

ある日の雨上がりの園庭で、「今日の砂は茶色いね」と色の变化に気づき、「雨が降ったからだ！」と砂が白くない理由を自分なりに考え、友達と話し合う姿がありました。

砂場には、様々な発見や驚きがあります。保育者は、そのような子どもの眩きを聞き逃さず共感したり認めたりしたいと思います。



こちらには…

大切にしたい 砂・どろんこ・水遊び

色や形など様々に変化する「砂」という素材は、こどもたちの驚きや発見、喜びを生み「こうしたらどうなるかな」といった想像する意欲を育てます。

また、さらさらした砂・ぬるぬるした泥などの感触は、こどもたちの感覚を刺激するとともに、心を開放し情緒を安定させると言われています。感受性が豊かなこの時期にこそ、砂・泥・水といった自然の恵みに触れながら、全身で遊ぶダイナミックな泥んこ遊びを展開したいと考えます。

保育者が大切にしていること、遊びのねらいなども保護者に伝わる。

2021年度から「ちびっこアート展(作品展)」の在り方も変わった。



コロナ対策をきっかけに、年1回の「ちびっこアート展」をやめ、「その時々」「いつもの」造形活動を展示。

玄関付近に「アートコーナー」を設け、年齢ごとに毎月替えながら、年間を通して活動内容が展示されている。

「ドキュメンテーション」も活用している。

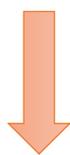


いつも保育室前で掲示している内容を、月替わりで玄関付近のコーナーに展示することにより、どの年齢の保護者にも見てもらえるようになり、造形遊びへの理解が深まっていった。

そして今年度  
2023年6月の、こども園玄関での展示



「はさみで、切る」「糊で、貼る」という行為、こどもから生まれた遊びを展示している。



2023.7～ 「イオンモールかほく」での展示へ！

「イオンモールかほく」との連携プロジェクトとして、  
こども園での「普段の造形活動」の一端を、**地域の方々に**、原則として毎月2週間、  
**一年を通して継続的に見ていただけるようになった。**

(2F「こどものひろば」横スペース)



2023年度の実績

- 7月 高松こども園
- 8月 はまなすこども園
- 9月 新化こども園
- 10月 ひまわりこども園
- 12月 しらゆりこども園
- 1月 大海こども園
- 1月 みずべこども園
- 2月 金津こども園

「作品展のための作品」ではない。  
6月の、こども園玄関での展示を  
そのまま再構成したものである。



《「はみ出すカ 30」に出展》

2023年11月17日～19日に、川口総合文化センター・リリア展示ホール（埼玉県）で開催された「はみ出すカ 30 ～授業の展覧会 2023～」に出展した。

こちらも、こども園での「その時々」「いつもの」造形活動を、そのまま再構成したものである。



「造形」は、形や色、素材と「かかわっていく」ことそのものも含む。特に0,1,2歳児では、「今から造形」という時間があっても、もちろん構わないのだが、そのような特別のことだけではなく、日々の子どもの生活や遊びの中に「造形」や「表現」がすでにあり、それを見ること、その遊びを拾うことが面白く、楽しい。複数の眼で見ると考えが深まり、広がる。

今後も、保育者一人ひとりが主体的に考え、共有する時間、対話する時間、ひらめきを形にしてみる試みを大切にしていきたい。かほく市の「0歳からの幼児造形事業」は、全国のモデルになる可能性を秘めている。